

**「世界一美しい本を作る」
小さな出版社シュタイデル。
数多くのコレクターがいる**

自社で書籍・写真集などの企画から製本まで、すべての工程を手掛ける小さな出版社シュタイデルは、ドイツ中部・人口約11万人の大学都市ゲッティンゲンにあります。

「世界一美しい本を作る」と称される同社と、世界中にコレクターがいるその出版物。一代でその地位を築き上げたのが、ゲルハルト・シュタイデルです。その仕事は、細部までこだわり抜かれ、多数の著名な作家やアーティストから絶大な信頼を得ています。



**デザインはもちろん、
紙の手触りやページをめくる音、
インクの香りにまでこだわる**

効率重視の風潮とデジタル化の波が押し寄せる出版界で、独自のビジネスモデルとして注目を集めるシュタイデル社の仕事。決して定型にあてはめることなく、紙の手触りや発色、ページをめくる音、使用するインクにいたるまで、アーティストたちの意図や想いを実現するために徹底的にこだわり、提案と対話を重ねます。出版のプロフェッショナルとしてアドバイスすることはもちろん、選択肢を提示してプロジェクトの成否に関わる重要な決断を促すことも。また、芸術性への深い理解のもと、新しい才能の発掘にも取り組んできました。スクリーンに映し出されるのは、そんな究極の本作りの様子です。



パリ、ロンドン、ニューヨーク、カタール……。60歳を過ぎてもなお、シュタイデルは精力的に世界各地のアーティストたちのもとへ打合せに出向きます。直接の打合せを重視し、身体的感覚を大切にしている彼の仕事から、現代社会を生きる私たちへのメッセージを感じざるを得ません。

監督：ゲレオン・ヴェツェル、ヨルク・アドルフ
出演：ゲルハルト・シュタイデル、ギュンター・グラス、カール・ラガーフェルド、ロバート・フランク、ジョエル・スタンフィールド
原題：How to make a book with Steidl / 2010年 / ドイツ

日本は、紙や表紙用の布など、世界で最も美しい本の為の MATERIAL と技術を有する国です。自動車産業やオーディオだけではありません。色、筆、印刷紙、印刷機など本当にすばらしい技巧の伝統を持っています。この豊かさを日本のみなさんは知っていますか？ 私に次の生というものがあんなら、日本に生まれて、今のような出版社を経営したいというのが私の望みです。そうしたら「世界一美しい本を日本で作る男」というドキュメンタリー映画ができますね。

ゲルハルト・シュタイデル

【前売チケットの取扱】 ★1月25日(土)発売予定

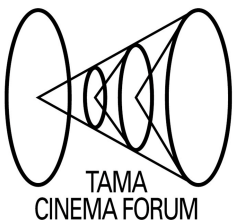
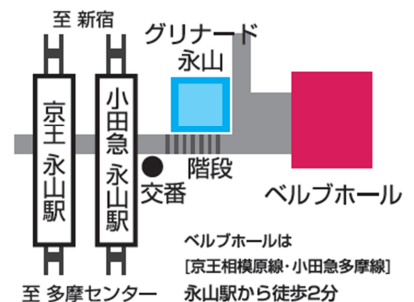
【ベルブホール(永山公民館 / ベルブ永山 5F)】

多摩市立永山公民館 (休館日・祝日を除く 9:00~17:00)

多摩市役所売店「ひまわり」

聖蹟桜ヶ丘ヴィータ7階「喫茶 風」

多摩センター「くまざわ書店 丘の上プラザ店」



主催：TAMA 映画フォーラム実行委員会

お問合せ(電話)：080-5450-7204(事務局直通)

042-337-6661(永山公民館代表)

※上映当日は 070-5580-9071(会場)へ



Twitter で最新情報をフォロー
@tamaeiga



Facebook ページに「いいね！」で参加
<http://www.facebook.com/tamaeiga>